

研究部門

教育目標

農業の技術革新や経営環境の変化に対応できる高度な経営管理方法や先端技術，農村地域のリーダーとしての知識を習得させ，高い実践力と柔軟な経営感覚を有する本県農業の中核となる担い手農業者や農村地域の指導者等を目指す人材を育成する。



派遣研修中間検討会
(1年)

農業研究科

プロジェクト発表
(2年)



畜産研究科

派遣研修
(1年)



学生募集要項

1 修業年数

2年（希望により学生寮入寮可）

2 募集人員

農学部 農業研究科 10名 専攻(野菜, 花き, 茶業, 果樹)
畜産学部 畜産研究科 10名 専攻(肉用牛, 酪農, 養豚)

3 受験資格

研究部門卒業後、農業関係に従事する見込みがある者又は農業・農村地域の指導者を目指す者

(1) 都道府県農業者研修教育施設養成部門の卒業者(卒業見込み者)又はこれと同等の学力を有すると認められた者

(2) 大学又は短期大学の農業に関する課程を修めた卒業者(卒業見込み者)又はこれと同等以上の学力を持つと知事が認めた者

4 出願書類の受付期間(令和7年度入学生)

A日程: 7月5日(金)～8月8日(木)

B日程: 11月1日(金)～11月15日(金)

5 入学試験科目

(1) 筆記試験 ①小論文 ②専攻専門試験
(2) 面接試験 個人面接

教育の特徴と具体的取組

1 専攻に係る高度な農業先端技術の修得

専攻及び専門に係る講義・演習・実習(経営計画演習, 研究論文, 専攻ゼミ)

①専攻ゼミ

少人数による専攻に関する演習や実習(研修・研究計画, 指導実習等)

②派遣研修

試験研究機関や先進経営及び関連業界で1年間滞在しての実習や演習

2 高度な農業経営管理能力の習得

経営診断・分析, 経営計画, 企業会計, 税務, マーケティング, 6次産業化などの講義, 演習を通し, 法人経営等に必要な経営管理の知識・技術を習得

3 地域農業・農村振興方策づくり等の習得

地域振興科目, 農村調査関連科目の講義, 演習を通し, 地域農業・農村振興の方策づくりの手法等を習得

4 指導者・リーダーとしての資質向上及び最新農業技術の理解

農業・農村のリーダーとして必要な知識や手法を学び, 養成部門の学生に対する指導の実践。スマート農業等の最先端技術への適応力と考察力の向上

2年間のスケジュール

学年	月	教育内容等	
1年	4	<ul style="list-style-type: none"> ・集中講義（農業会計分析論Ⅰ 外4科目） ・経営計画演習 ・専攻ゼミ（研修研究計画 外） 	
	5		
	6		
	7	【派遣研修】	
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	1		
	2		
	3		
2年	4		<ul style="list-style-type: none"> ・派遣研修とりまとめ 研究論文作成準備
	5		
	6		
	7		
	8	夏季休暇	
	9		
	10		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・集中講義（農業経営計画論Ⅱ 外11科目） ・実習・演習（農村地域活動実習 外2科目） ・研究論文 ・専攻ゼミ（指導実習 外） 	
	12		
	1		
2	自宅学習		
3			

主な派遣研修先

- 国・県の試験研究機関
- 先進の農家法人・企業
- 進路先等に関するインターンシップ
- 農産物加工施設
- 流通事例調査に関する機関
- 資格取得に関する機関
- 農業高校（実習助手見習い）

派遣研修例

①	県試験場		
②	県試験場		国試験場
③	先進農家	先進企業	県試験場
④	先進農家		流通調査
⑤	農業高校	加工施設	資格取得 インターンシップ

研究論文作成を主目的とし、1年間に亘り、同一の機関・施設で研修するものや、専攻分野を広範に学習するため、数か所の機関・施設で研修するパターンがある。また、卒業後の進路希望との関連で、一部にインターンシップを組み入れたり、資格取得を目的とした研修も考えられる。

なお、研修先は学生の希望を優先するが、研修先の都合により希望が叶わないこともありえる。

教育カリキュラム

★研究部門科目と教育内容					R5年度入学生適用
科目名	区分	単位	履修時間	学年	科目の内容(概要)
(必須科目)					
農業会計分析論Ⅰ	講・演	2	30	1	農業経営管理に必要な複式簿記の具体的な記帳及び決算方法。具体的には、農業簿記2級の資格取得を目標
農業会計分析論Ⅱ	講・演	2	30	1	
農業経営計画論Ⅰ	講・演	2	30	1	農業における経営管理の重要性と係数把握の方法、経営設計手法
農業経営計画論Ⅱ	講・演	2	30	2	複式簿記を活用した農業経営改善方法(貸借対照表、損益計算書、資金計画、損益計算など)
農業法人実務Ⅰ	講・演	2	30	1	農業法人の形態・種類、会計処理、法人経営のメリット、設立の意義と手続き及び企業経営の基本
農業法人実務Ⅱ	講・演	2	30	2	農業法人制度の実際。担い手としての法人事業の多角化・産業クラスターなどの多様な展開手法や事例
マーケティングⅠ	講・演・現	2	30	1	・対象と方法、世界と日本、農業主産地形成と流通、・マーケットの現状方向、認定商品、商品広報手法研究
マーケティングⅡ	講・演・現	2	30	2	生産から販売に至るまでの戦略の立て方等の講義、多様な流通や法人等の流通・販売の実践事例の現地研修の実施
農業税務論	講・演	2	30	2	農業経営及び農業指導者として必要な農業に関する税金の種類や経営改善のための税務申告等の知識
農業法規	講・演	1	15	2	農業に関する法律と具体的な県(国)の政策・施策の理解。加えて経営基盤強化促進法(認定農業者制度)、農業制度資金
農業経営各論	講・演	2	30	2	・試験研究成果と専攻分野の技術・経営改善方策、・農業技術論として農業技術の特徴、課題と方向
農業・農村リーダー論	講・演	1	15	2	すぐれた青年農業者育成(4Hや70プロジェクト)、農業・農村のリーダーとして必要な知識や手法(リーダーとして求められるもの、県農業の課題と方向などの時事)
地域農業振興論	講・演・現	2	30	2	地域農業の現状・動向及び政策・対策の理解のための講義、そのような組織活動を具現化した実践事例の現地研修の実施
小計		24	360		

(選択科目)					
農村地域活動実習	講・演	1	45	2	5次産業化事業成功の鍵となる「ストーリーづくり」や「消費者日報・顧客日報」について、外学講師による実践事例の発表及び質疑応答。
教育概論	講・演	1	15	2	農業・農村に関する教育指導を行うに必要な知識や手法。
最新農業技術論	講・演	1	15	2	実用性高い先端技術の奥行きを学び、中長期的視点で産業的・世界的な最新農業技術の現場への応用・実践。
農村調査論	講・演	1	15	2	地域農業・農村調査関係科目、地域農業を取り巻く情勢と課題、農村地域が抱える課題と調査研究の進め方。
農村調査演習	演	1	15	2	地域農業・農村調査関係科目、地域調査研究テーマの検討決定、調査実施のためのための情報収集、検討決定、現地調査計画書の作成。
小計		5	105		
(専攻科目)					
経営計画演習	講・演	8	120	1,2	1年次、日本経営発展戦略、技術経営の診断分析、5年次の経営モデル作成、実体会で授業を実施、2年次、技術経営の診断結果から、事業計画4年間の経営改善計画を作成、「経営設計、資金繰、固定資産に準じた計画書作成」
研究論文	講・演	6	180	2	大学院研究等での調査研究等で行った研究成果を研究論文としてまとめ、高度な課題解決手法を学ぶ、成果の発表会を実施。
地域農業調査研究	演・現	4	60	2	地域農業・農村調査関係科目、多様な地域課題について学生自ら課題(研究テーマ)を設定した上で、現地調査と分析のまとめと報告会を実施。
専攻ゼミ※		43	1,845	1,2	下記の運用科目の履修済
小計		61	2,205		
総計		90	2,670		

参考)国の協同農業普及事業が「オンライン」…2400時間(時限)以上、又は80単位以上、実習おおむね50%

専攻ゼミ※ 運用科目		単位	履修 時間	学年	科目の内容
研修研究計画	講・演	2	90	1	専攻の研究計画(研究テーマ作成、学生の目標に応じた調査研究全体計画作成(調査史、期間、内容)、授業の実施会実施。
派遣研修	講・演・実	36	1,620	1,2	1-2年次、専攻に係る実践研究を中心として農業団体、法人等で技術・経営管理技術の習得、研究論文に反映した成果計画書、研究成果の報告会実施。
農業情報演習	講・演	1	15	1	コンピュータ活用技術(インターネット、タブレット、Excel等)
統計処理演習	演	1	15	1	農業データに必要な統計処理手法及びExcel活用統計処理技術
農業経営管理演習	講・演	1	15	1	農業経営における農業生産設計、労務管理、男女共同参画(東京農業協定等)のあり方。
指導実習	演・実	2	90	2	調査研究等で行った専攻の知識・技術を従属年1年生に対し指導実践、従属農場での申請実習と実践に実践及び指導実践。
専攻ゼミ計		43	1,845		

(注)区分欄の講:講義、演:演習、実:実習、現:現地調査のこと

ここ数年の研究論文等実績

「全国プロジェクト発表」の実績

(平成30年度(第21回)～令和5年度)

年度	賞	学科	氏名	タイトル名
R5	農林水産経営局長賞(1位)	農業研究科	長野 可奈	県産糖含有珪藻土を利用した持続可能な土壌還元消毒法の確立
R4	農林水産経営局長賞(1位)	畜産研究科	宮下 楊平	受精卵移植師としての卵巣触診技術の向上
R3	特別賞	農学研究科	圓 裕詞	奄美大島における高品質タンカン生産での省力化対策の検討
R2	農林水産経営局長賞(1位)	畜産研究科	田畑 一樹	黒毛和種の分娩予測における行動学的アプローチ
R1	特別賞	農学研究科	蔵治 優希	八重咲きテッポウユリ商品化プロジェクト ～世界に一つだけの花にかける想い～
H30	農林水産経営局長賞(1位)	畜産研究科	伊丹 恵理瑠	母豚における直腸検査の有用性を検討 ～発情周期及び繁殖障害把握による経営改善を目指して～

「ヤンマー学生懸賞論文・作文」の実績

1 論文の部

年度	回	賞	学部	学科	学年	氏名	タイトル名
R3	32	特別優秀賞	畜産学部	畜産研究科	1	宮下 楊平	2050年型・新和牛生産方式 ～農村の原風景と先端技術の融合～
R2	31	優秀賞	畜産学部	畜産研究科	2	伊東 隆宏	胚移植技術とスマート農業を融合させた高能力生産の提案
H30	29	優秀賞	畜産学部	畜産研究科	2	市山 泰大	与論島における受精卵移植システム構築の提案 ～最南端で最先端の優生子牛の産地育成を！～
H30	29	大賞	畜産学部	畜産研究科	2	伊丹 恵理瑛	日本の養豚業を”食農産業”として発展させる提言 ～日本の養豚に新たな風を～

2 作文の部

年度	回	賞	学部	学科	学年	氏名	タイトル名
R3	32	銅賞	畜産学部	畜産研究科	1	日高 光星	農業に向き合う人材を育てる ～農業高校の実習教員を目指す夢～
R2	31	銅賞	畜産学部	畜産研究科	2	伊東 隆宏	牛つくていあしば、牛つくてい暮らさやりくぬ、互に働ちゆていうちゆよわたら (牛をつくて遊ぼう、牛をつくて暮らそう、互いに働いて世の中渡ろう)
R1	30	金賞	畜産学部	畜産研究科	1	石山 翔平	肉用牛農家となるための責任と覚悟～生命(いのち)ある産業動物を管理すること～
R1	30	銅賞	畜産学部	畜産研究科	1	田畑 一樹	ポジティブ思考に変わるきっかけ～牛飼いの格好良さを教えてくれた友人の問いかけと父のひと言～
R1	30	銅賞	農学部	農業研究科	1	堂崎 慶次郎	祖父から父へ そして父から私へ ～「農」は人と人をつなぐ～

令和5年度 全国農業大学校等 プロジェクト発表会 研究課程の部 経営局長賞(一席)



研究課程最優秀賞 長野可奈さん 鹿児島県立農業大学校

県産糖含有珪藻土を利用した 持続可能な土壌還元消毒法の確立

鹿児島県立農業大学校
農業研究科 2年
長野 可奈

その他の動画

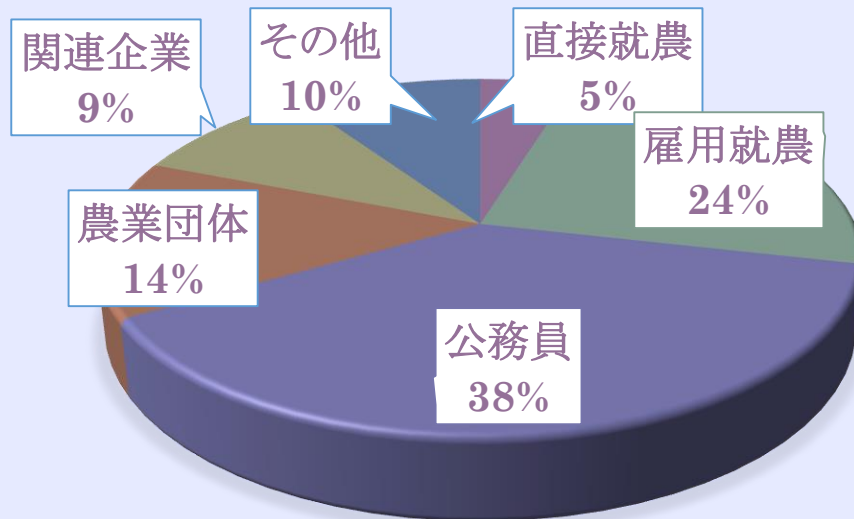
0:06 / 10:44

共有

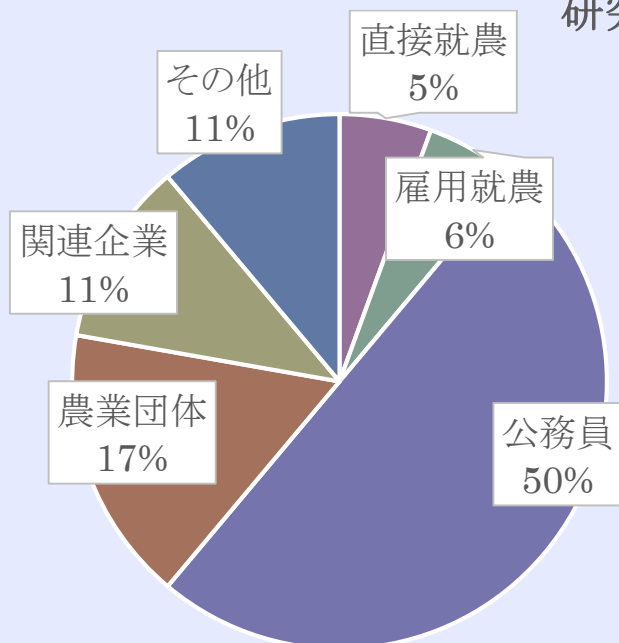
YouTube

This block contains a video player interface. At the top, it identifies the award as "研究課程最優秀賞" (Best Award in the Research Course) for "長野可奈さん" (Ms. Kanako Nagano) from "鹿児島県立農業大学校" (Kagoshima Prefectural University of Agriculture). The video title is "県産糖含有珪藻土を利用した持続可能な土壌還元消毒法の確立" (Establishment of a Sustainable Soil Reduction and Disinfection Method Using Locally Produced Sugar-containing Diatom Earth). The video shows two scenes: one of a woman in a blue shirt and hat working in a greenhouse, and another of a woman in a black business suit speaking at a podium. The video player includes a progress bar showing 0:06 / 10:44, a "共有" (Share) button, and the YouTube logo.

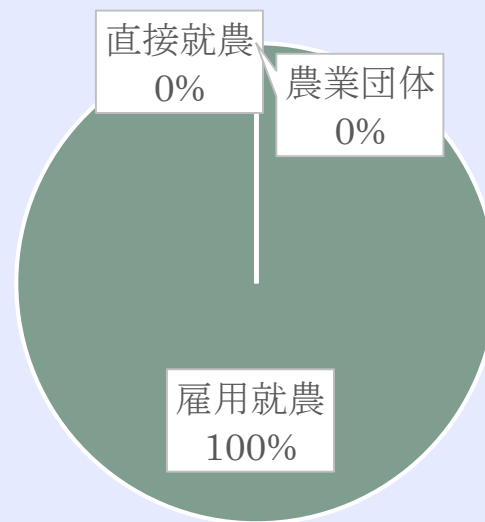
卒業生の進路



研究部門全体 (R1~5年度)



農学部 農業研究科



畜産学部 畜産研究科